

# 10年の歩み



在日濟州婦人会

## ●目次

### 1. 創立までの経緯

### 2. 発刊の辞

初代会長 韓 道淑

会長 呉 春花

### 3. 祝辞

外濟州道民会総联合会

会長 呉 賛益

在日本関東濟州道民協会

会長 鄭 平普

### 4. 思い出のアルバム



## ● 婦人会創立までの経緯

在日済州婦人会設立総会は、11月7日ホテル・パークサイドで、発起人の韓道淑、夫順末、康仁順、李丙鉉、左玉花、金孝淑、金永姫7氏の呼びかけで開催され、来賓と婦人たち75名が出席した。

婦人会の結成は理事や婦人たちから提議され数年前から論議を続けてきたが、婦人会設立に向け発起人たちは数カ月前から会合を重ね、このたび在日大韓婦人会東京本部の夫順末常任顧問、韓道淑顧問、康仁順会長らの努力と当協会の支援を受けて設立総会が開催されるに至った。

婦人会設立は李淳元会長の公約でもあり、また37回定期総会の新年度事業計画案に盛り込まれたのを受け、設立総会に向け具体的な準備が進められていたのである。



## 済州婦人会規定

- 一、本会は在日済州婦人会と称する。
- 二、本会は東京と東京近郊に居住する済州道出身及本籍地が済州の婦人で構成し、会員間、家族間の親睦を目的とする。
- 三、本会の役員は次の通り。
- 四、本会は若干の顧問と常任顧問を置く事が出来る。(但、常任顧問は済州道民協会現会長が自動的になる)
- 五、会費は月二千円とし必要によって特別会費を徴収する事が出来る。

### 婦人会役員名単

顧問	朴潤閔
顧問	秦致才
会長	韓道淑
副会長	夫順末
副会長	左玉花
副会長	李丙鉉
副会長	康仁順
総務部長	金順子
総務次長	金永姫
財務部長	金永姫
財務次長	洪久子
結婚相談部長	康景淑
結婚相談次長	未定
監査	金孝淑
監査	吳春花

●ごあいさつ



在日済州婦人会  
常任顧問 韓道淑

在日済州婦人会、10周年、心よりお喜び申し上げます。  
又、婦人会活動に対して暖かいご理解を示して下さいました  
会員及び関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

思いおこすと私が婦人会を設立するきっかけに至ったのは  
在日本関東済州道民協会 前李淳元会長の強い要望と  
発起人の方々の強い意志があったからです。協会と共に  
過ごした10年は逢う度に皆様から温かい眼差しを受け  
深い親睦で結ばれていたと切に感じられました。

私も微力ではありますが設立にかかわられた事が幸せに  
思い、感謝し又、私の人生にとって良い思い出として胸  
に深く刻まれております。

最後に婦人会の更なる発展と皆様方のご家族のご健勝を  
お祈りいたしご挨拶とさせていただきます。



在日済州婦人会  
会長 吳春花

私たちが在日済州婦人会は今年で設立10周年を迎えることとなりました。皆様方ご存知のように私たちが在日済州婦人会故郷を愛し、同郷人の親睦と文化向上をはかり郷土の発展の為に寄与することを目的とし発足しました。

この間、在日本関東済州道民協会また会員様のご指導、ご協力のもと婦人会の活動に取り組んできました。

初代 韓道淑会長は設立から6年間、温かい抱擁力と決断力で婦人会の礎を築いて頂きました。その後私が4代目会長として微力ながらも婦人会の為に誠心誠意努めて参りました。これも執行部の方々と会員の皆様方のご支援ご協力のおかげだと深く感謝しています。

平和の島である済州道はこの10年間に目まぐるしい勢いで発展して参りました。そして今年には特別自治道に指定されました。また、世界のグローバル化に伴い済州道は国際自由都市として新たな発展へ歩みはじめました。私たち婦人会は在日本関東済州道民協会と共にこれからも郷土の発展に寄与し、同時に同胞の若い世帯が済州人として誇りを持てるよう、そして韓日両国の架け橋になれるよう努力し活動していきたいと思えます。

今後も会員の皆様には変わらないご支援、ご協力をお願い致します。

●ご祝辞



在外濟州道民会総聯合会  
会長 吳 贊 益

「在日濟州婦人会」がこのたび創立10周年を迎え記念誌を発行する事になりましたことを、心からお祝い申し上げます。

在日濟州婦人会を語るには「在日本関東濟州道民協会」の存在抜きには語れません。

皆様ご承知のとおり、道民協会は特別自治道として、より高度な自治権を認められた故郷濟州道の発展と、その出身者である在日同胞企業と家族の繁栄を願い、会員相互の親睦と交流を図る親睦団体であり、創立以来45年の歴史と実績を誇っております。

在日濟州婦人の方々はその様な道民協会の設立の趣旨を理解され、内助の功としての立場で側面から道民協会の発展に寄与されて参りましたのは、内外道民の認めるところであります。

然しながら年月を数えると共に、二世・三世の故郷に対する関心が薄れゆく現状を憂い、より積極的に活動する為の手段として婦人会結成が提議され、初代会長に韓道淑現常任顧問が選任されました。当時の道民協会会長である李淳元現顧問が協会を代表し、自身の会長としての公約に掲げ婦人会創立の推進役として、積極的な役割りを果たした事も聞き及んでおります。

協会の歴史に比べますと諸般の事情により、発足がやや遅かった感じは否めませんが、韓道淑会長が三期六年会長職を努め上げ、その類いまれな指導力を発揮され、その後吳春花現会長が第4・5代会長に就任し、副会長以下執行部の団結力により婦人会の礎を築きあげられた事に敬意を表します。

恒例の「家族同伴新年会及び成人式」をはじめとする諸行事に対する婦人会の協力は、たまには叱咤激励される事もありますが協会執行部にとりましては心強いものであります。

「在日濟州婦人会」と在日本関東濟州道民協会は永遠に共に歩んで参るものであります。

最後に、この創立10周年の記念すべき節目にあたり、「在日濟州婦人会」の更なる発展と充実を願いまして祝辞と致します。



在日本関東济州道民協会  
会長 鄭 平 普

在日济州婦人会が発足して10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

在日济州婦人会は、在日本関東济州道民協会の李淳元第21代会長当時に、韓道淑様を初代会長として発足され10年になります。

10年一昔とは言いますが、今の在日济州婦人会の活動内容並びにその趨勢から見て在日济州婦人会はもっと古い歴史を持った品位ある団体に感じられます。それだけこの10年間充実した活躍がなされたことと敬意を表する次第です。

また、いつも当在日本関東济州道民協会の諸活動には積極的な御協力を下さいましたことに深く感謝申し上げます。

在日本関東济州道民会は、1961年在日本济州開発協会として発足し、その後在日本济州道民協会、在日本関東济州道民協会と時代を反映した会の名称に改変し今日に至っております。その間故郷济州を愛する精神を基本に会員相互間の親睦を図りながら、郷土济州道の開発に先駆的な役割を果たしてまいりました。このことは道内外に広く認められています。当協会の歴代役員並びに会員がこのような立派な業績を残すことができましたのも偏に婦人会の皆様をはじめ多くの御婦人方の御協力の賜物と思います。

今日の济州道は他のどの地域にも劣らない程豊かな济州道になりました。また、国際自由都市を目指して更なる開発が進められています。今年7月からは济州特別自治道としてスタートしました。济州道出身として誇りに思うと同時に当協会として济州特別自治道とどう向かい合っていくか、济州国際自由都市に向けてどう協力できるか道並びに会員皆様さらには婦人会の皆様の意見を聞きながらこの問題に取り組みたいと考えております。

最後になりますが在日济州婦人会のますますの発展と会員皆様の健勝をお祈り申し上げます。祝辞といたします。



#### 親睦日帰りバス旅行に45名参加

在日済州婦人会が発足して初めての日帰り親睦バス旅行会が、98年3月26日南房総の花狩人・磯の香りコースに婦人会員45名が参加した。参加者は菜の花畑で菜の花を摘み、花に囲まれた自然の中で身も心もリフレッシュして親睦を深めた。

#### 済州道訪問に36名参加

在日済州婦人会は昨年11月7日に結成されて以来初めての済州道訪問旅行会が6月22日～25日迄、3泊4日の日程で実施され36名が参加しました。梅雨の最中であいにくの空模様にもかかわらず、久しぶりの故郷訪問を思う存分満喫する事が出来ました。23日には済州日報社の招待により婦人会の一行は新聞社を訪問し、済州日報社の歴史、コンピュータ処理の最先端設備による新聞製作工程等を見学、午後には在日同胞の入園希望者の為に建設中の養老院『平和の家』を訪問し、韓道淑会長より100万ウオンの寄付金を伝達しました。24日には城山浦を遊覧船で廻り日出峰を見学、夕方のさよならパーティーには禹瑾敏道知事ご夫妻、金泰煥済州市長、梁主夏済州新聞副社長も同席し故郷の味覚を楽しみました。







3月27日、昨年に続いて婦人会の「第2回日帰りバス旅行」が開催され、茨城県「筑波山梅林」に会員38名が参加した。筑波山神社を参拝、境内の梅を観賞、昼食は「筑波山庭園花まさ」で炭火烧ステーキと梅花海老寿司の昼食を堪能、目的地の「水戸偕楽園」に着く頃にはあいにく大雨になり目的地を急遽「水戸ラドン温泉」に変更、宴会場を貸切ってラドン温泉に入ったり、カラオケ等で楽しみ、大いに盛り上がった親睦旅行会であった。



4月13日、婦人会料理講習会が文京区茗台生涯学習館で韓道淑会長が講師として、カルビスープの他5品目の料理について講習会を開き、会場の都合で26名の会員のみ参加、4台のテーブルに分かれ各々料理を作り、出来上がった料理を皆で試食しながら和気あいの内に終了、講習会で習った料理を作る為の食材を帰宅の途中買う会員もいた。そして、料理の大切な事は心を込めることと、盛り付けも大事なスパイスと教えていただきました。



5月、上野『ホテル・パークサイド』において、在日済州婦人会主催による、在日済州道民の若人達に「出会いの広場・夢と希望」を設ける為の、ブライダルパーティーが開催された。応募者は男性14名、女性19名の33名が参加、在日済州道出身2世のタレント松山三四郎の軽妙な司会で楽しく歓談、友好を深め、自己ピーアールをしたり、ゲームで楽しんだ後、男女別々に本命の番号を書き込んだ結果3組のカップルが誕生した。終了後も意気投合した若者達が声を掛け合い二次会を開いた様であり、在日3世、4世の若人達に同じ故郷の同胞と出会う場を作った事は意義のあるブライダルパーティーであった。



10月3日より2泊3日の日程で南九州旅行を開催し、総勢38名が参加。美山薩摩焼の里を訪れ、400年前に日本に連行された朝鮮人陶工の末裔として活躍なさっている第14代沈寿官氏と会い同じ民族の暖かさが通うのを感じる事が出来た。その夜は指宿温泉で砂風呂や温泉に入ったあと宴会で盛り上がった。その夜は長崎鼻、池田湖を廻り仙巖園で昼食、霧島温泉へ。霧島神宮に参拝し、空路羽田へもどり楽しい旅を終えた。



3月14日 料理講習会 31名参加で行われた。



第3回目の日帰りバス旅行が6月7日総勢50名参加で行われた。



9月30日～10月3日、  
婦人会は韓国（安東・釜山）への旅に39名が参加。

12月3日第4回定期総会・送年会が  
上野「ホテル・パークサイド」に  
於いて70名参加で開催。





2001年11月4日より3泊4日の婦人会香港旅行に38名が参加した。



2002年3月20日 料理講習会開催。  
(茗台生涯学習館)



2001年12月2日  
第5回定期総会・送年会を「ホテル・パークサイド」にて開催。



2002年4月19日～21日  
成田⇄済州直行便就航記念訪問団として済州道民協会と済州婦人会の総勢56名が済州道の旅。  
(成田⇄済州直行便開設2001年12月6日)



2002年12月8日  
第6回定期総会・送年会70名参加のもと「ホテル・パークサイド」にて開催。



2003年10月26～29日  
ソウル本国故郷の文化、グルメ再発見の旅。



2003年12月7日  
濟州婦人会第7回定期総会がホテル・パークサイドに於いて開かれました。6年前の設立より3期6年間会長を務められ、当会を大きく発展させられた、韓道淑会長の勇退に伴い、次期会長には、呉春花氏が選出されました。  
呉春花新会長は前会長のなさったことを見習って皆さんと協力して、有意義で楽しい会になるよう努力したいと思いと語られました。  
参加社は75名で、当会がはじめて以来一番多い参加人数でした。



2004年3月30日 協会事務所を湯島に移転。



2004年6月20、21日  
川治温泉一泊旅行開催。



2004年11月14、15日  
南紀白浜親睦旅行開催。



2004年12月5日  
第8回定期総会・送年会開催。

2005年12月4日  
第9回定期総会・送年会53名参加のもと  
「ホテル・パークサイド」にて開催。



今年の文化活動としてパンソリ「沈清」に続き一泊旅行に選んだのは「熱海」です。電車の中は貸し切りのようで車内いっばいに笑い声が熱海に到着するまで続きました。

翌日は東京に帰る方、ゴルフをする方、熱海に延泊する方と様々に楽しんで頂けました。

圧巻だったのは、故郷「済州道」を再び訪問しようと韓道淑常任顧問や呉春花会長のきめ細かい旅行計画でした。二泊三日以上の中身の濃い楽しい旅となりました。



2005年9月26～28日  
済州道旅行開催。





ゴールデンウィークが明けた5月8日（月）に今年初めての行事である「日帰りバス旅行」に32人が参加しました。

館林つつじが岡公園・栗田美術館・足利フラワーパークと盛り沢山でしたが、役員をやきもきさせていた前日までの雨がすっかり上がり、暑くもなく寒くもない最高のお天気に恵まれました。

幾重にも折り重なるように咲いているつつじは満開で私達を迎えてくれましたし、むらさき藤や白藤は

見事なトンネルとなって、まさしく息を呑むような美しさでした。

また3万坪の広さに点在する「栗田美術館」は庭園を散策するだけでもまるで別世界のような静けさで「伊万里」を堪能することができました。足利料理「おきりこみ」を楽しみ、「花」を楽しむ旅は、東京に到着するころになってまた雨が降り出しましたが本当に充実した一日を過ごせたことに感謝し、皆さんと再会を約束しながら帰途に着きました。



歓迎：在日済州婦人会様

#### ちょっと豪華な台湾旅行

本年度の婦人会の親睦旅行は台湾へ行きました。

10月31日から11月3日までの3泊4日の旅行でした。台湾では台北を中心にまわりました。

レトロな街並の「九？」を訪ね、昔ながらの石畳を散策したり、足ツボマッサージや台湾シャンプーを体験したりしました。そして、台湾料理も大変美味しくいただく事ができた充実した旅行となりました。この旅行で文化の違いを肌で感じる事ができ、また参加者のみなさんとより親交を深めることができました。

最後に、婦人会の本年度の旅行に理解し送り出していただいたご家族の方々、誠にありがとうございました。



歓迎：在日済州婦人会様

企画制作／在日済州婦人会

発行／2006年12月2日

# 在日济州妇人会

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-5

TEL 03(3832)4411・5077

FAX 03(3832)5078

<http://www.jejudomin.org>